

令和 7 年 度

土地改良事業変更計画書

[県営ため池等整備事業（一般）]

都道府県名：福 岡 県

地 区 名：浦 地 区

所 在 地：糸 島 市

事 業 主 体：福 岡 県

# 目 次

第1章	目 的	1	第6節	地域環境の概況	22
第2章	地域及び地積	1	1	植物、動物等生態系の概要	22
第1節	地 域	1	2	その他地域環境の概要	22
第2節	地 積	2	第4章	一 般 計 画	23
第3章	現 況	3	第1節	事 業 計 画 の 要 旨	23
第1節	気 象 及 び 海 象	3	1	要 旨	23
1	一 般 気 象	3	2	事 業 別 面 積	23
2	特 殊 気 象	3	第2節	営農計画及び土地利用計画	24
3	海 象	4	1	営農計画の概要	24
第2節	土 地 状 況	4	2	土 地 利 用 区 分	24
1	地形、土壌及び侵蝕の程度	4	3	作 付 方 式	25
2	土 地 分 類	6	4	生 産 計 画	26
3	土 地 利 用 の 状 況	7	5	労 働 改 善 計 画	27
4	土 地 所 有 の 状 況	8	6	級地別土地利用区分	28
第3節	水 利 状 況	9	7	土 地 配 分 計 画	29
1	用 水 状 況	9	第3節	用 水 計 画	29
2	排 水 状 況	13	1	計 画 基 準 年	29
3	河 川 の 現 況	16	2	計 画 かんがい方式	29
第4節	道 路 現 況	17	3	計 画 用 水 系 統	29
1	道 路 概 況	17	4	計 画 用 水 量	30
2	主 要 道 路 一 覧 表	17	5	水 源 計 画	32
第5節	地 域 農 業 の 概 況	18	第4節	排 水 計 画	37
1	産 業 別 就 業 人 口	18	1	計 画 基 準 雨 量	37
2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	19	2	計 画 排 水 方 式	37
3	動力農機具及び主要家畜頭数	19	3	計 画 排 水 系 統	37
4	主 要 作 物 作 付 状 況	20	4	計 画 排 水 量	38
5	農 業 の 動 向	21	5	排 水 対 策	39
			6	湛 水 検 討	41

第5節	道 路 計 画	42
1	道 路 及 び 索 道	42
2	路 線 配 置 図	43
第6節	農 用 地 造 成 計 画	44
1	農 用 地 造 成 計 画	44
2	土 壌 改 良	44
第7節	洪 水 調 節 計 画	45
1	計 画 基 準 雨 量	45
2	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	45
3	貯 水 池	45
4	洪 水 調 節 検 討	46
5	管 理 計 画	46
第8節	干 拓 計 画	47
第9節	農 用 地 整 備 計 画	48
1	区 画 整 理	48
2	暗 渠 排 水	50
3	客 土	51
4	農 地 保 全	51
第10節	老 朽 た め 池 改 修 計 画	52
1	洪 水 吐 改 修 計 画	52
2	堤 体 補 強 計 画	52
3	取 水 施 設 改 修 計 画	52
<b>第5章</b>	<b>主 要 工 事 計 画</b>	<b>53</b>
第1節	用 水 施 設	53
1	貯 水 池	53
2	頭 首 工	53
3	揚 水 機	54
4	用 水 路	54
5	そ の 他 か ん が い 施 設	54

第2節	排 水 施 設	55
1	排 水 水 門	55
2	排 水 機	55
3	排 水 路	56
4	そ の 他 排 水 施 設	56
第3節	道 路 及 び 索 道	57
1	道 路	57
2	索 道	58
第4節	農 用 地 造 成	59
1	農 用 地 造 成	59
2	土 壌 改 良	60
第5節	洪 水 調 節 施 設	61
1	貯 水 池	61
2	頭 首 工 及 び 導 水 路	61
第6節	干 拓 施 設	62
1	堤 防	62
2	潮 止 め	62
3	付 属 施 設	62
4	埋 立	62
第7節	農 用 地 整 備 施 設	63
1	区 画 整 理	63
2	暗 渠 排 水	64
3	客 土	65
4	除 礫	65
5	農 地 保 全	66
第8節	老 朽 た め 池 改 修 施 設	67
1	貯 水 池	67
2	堤 体 補 強 施 設	67

<b>第6章</b>	<b>附 帯 工 事 計 画</b>	<b>68</b>
------------	--------------------	-----------

<b>第7章</b>	<b>工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期</b>	<b>68</b>
------------	------------------------------------	-----------

第8章	環境との調和への配慮	69
第1節	配慮の対象	69
1	動物	69
2	植物	69
3	その他	69
第2節	配慮の考え方	69
1	施工上の配慮	69
2	施設計画上の配慮	69
第9章	換地計画の概要	70
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	70
第2節	換地区の設定	70
1	換地区の名称、所在、面積	70
2	換地区を設定する理由	70
第3節	換地計画樹立の基本方針	70
1	従前の土地の面積の基準	70
2	用途別予定地積	71
3	農用地集団化の方針	72
4	非農用地換地の方法	72
第4節	土地の評価及び清算の方法	73
1	評価の方法	73
2	清算の方法	73
第5節	換地計画樹立の年度計画	73
第6節	換地処分の特則に関する特則	73
第10章	事業費の総額及び内訳	74
第11章	効用	74
第12章	関連する事業	75
第13章	現況・計画図面	75

## 第1章 目 的

### (1) 必要性

本地区のため池はの現堤体は余裕高不足であるとともに、耐震性が劣っているため改修・対策が必要である。上流側法面には波受工が設けてあるものの基礎部下位（堤体押え盛土）の浸食がある。また、洪水吐は断面不足であり改修が必要である。取水施設は取水は十分な機能を果たしているが緊急放流施設がないため改修が必要である。

### (2) 緊急性

本ため池堤体は耐震性不足であるとともに、緊急放流施設がなく地震発生後に破堤の恐れがある。決壊するという事態になれば、ため池下流側の集落・農地、農業用施設等多大な被害を与えることとなる。よって、早急に整備する必要がある。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
県営ため池等整備事業（一般）	受 益 地 ： 福岡県糸島市志摩野北
	浦地区は糸島市役所から北西へ約9kmの志摩野北の山地の谷部に位置する。下流側の受益地は平坦な圃場整備地区である。



### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福岡管区气象台	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	1946～2019	4月～9月	10月～3月		
平均気温 (°C)		23.0	11.1	17.1	
降水量	平均 (mm)	1,151	483	1,634	
	基準年 (mm)	-	-	-	
降水日数	平均 (日)	60	65	112	
	基準年 (日)	-	-	-	
根雪期間		月 日	～ 月 日	日間	
無霜期間		月 日	～ 月 日	日間	
最多風向		南	最大風速 (風向)	24.2 m/s (南南西)	最多風向発生時期 4月～9月 最大風速発生年月日 昭和31年9月17日

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 福岡管区气象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
観測期間 1946～2019															
最大日雨量 (mm)	308	1953/6/25	—	236	2018/6/29	—	233	1983/7/16	—	229	1963/6/29	—	217	1954/9/25	—
最大時間雨量 (mm)	97.0	1997/7/28	—	80	1999/6/29	—	73	1957/8/3	—	73	2013/8/30	—	72	2009/7/24	—
最大4時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
最大連続雨量 (mm)	646.0	1935/6/26 ～7/6	—	640	1948/6/25 ～6/29	—	624	1953/6/24 ～6/29	—	599	1985/6/21 ～6/29	—	458	1980/7/5 ～7/14	—
最大連続干天日数 (日)	64	1939/11/3 ～1640/2/1	—	50	1998/12/4 ～1999/1/22	—	49	1984/7/2 ～8/19	—	45	1995/11/15 ～12/28	—	38	1994/7/25 ～8/31	—

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名		既往最高 潮 位 (m)	さく望平均 満 潮 位 (m)	上下弦平均 満 潮 位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均 干 潮 位 (m)	さく望平均 干 潮 位 (m)	既往最低 潮 位 (m)	備 考
観測期間	年～ 年								
	該当なし								

第2節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び侵蝕の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高 (m)		備 考		
	傾斜	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8°～15°			15°	20°	計		最 高	最 低
	以下	以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	8°～10°	10°～15°	8°～15°	15°～20°	以上				
県営ため池等整備事業 (一般)	面積 (ha)		2.6				2.6	0.0							0.0	6.9	2.9	
	比率 (%)		100				100	0.0							0.0			
合 計	面積 (ha)		2.6				2.6	0.0							0.0			
	比率 (%)		100				100	0							0			

(第4表-1-2)

土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考	
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥 炭 層 及 び グライ層			た め 池 整 備 事 業	計		
					表 土	下 層 土								
				一 層	二 層	三 層								
- ※調査資料なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6		2.6	
計											2.6		2.6	

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				カリー浸食の程度		備 考
		0	0～ 25%	25～ 50%	50% 以上	0	3mm 未満	3～ 5mm	5mm 以上	中程度 のもの	大なる もの	
	面積 (ha)				該当なし							
	比率 (%)											

## 2. 土 地 分 類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
		一級地	二 級 地				三 級 地			四 級 地			
			※ (ha)	3°～ 0°	0°～ 12°	12°～ 15°	※ (ha)	15～ 20°	20°～ 25°	25°～ 30°	※ (ha)		
					該当なし								※ は傾斜以外の要因によるもの
	計												

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					備 考
		一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
	計						

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭材 (ha)					
県営ため池等整備事業	糸島市	2.6	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	
	計	2.6	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	
	計													
	計													
	合計	2.6	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別	個人有	国 有	県 有	町 有	計	備 考
	区 分						
県営ため池等整備事業	面積 (ha)	2.6				2.6	
	受益者数 (人)	11				11	
	筆数 (筆)	23				23	
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						
合 計	面積 (ha)	2.6				2.6	
	受益者数 (人)	11				11	
	筆数 (筆)	23				23	
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水状況

浦池を主水源として、受益地 2.6 haをかんがいしている。

最大取水量 0.021 m<sup>3</sup>/S

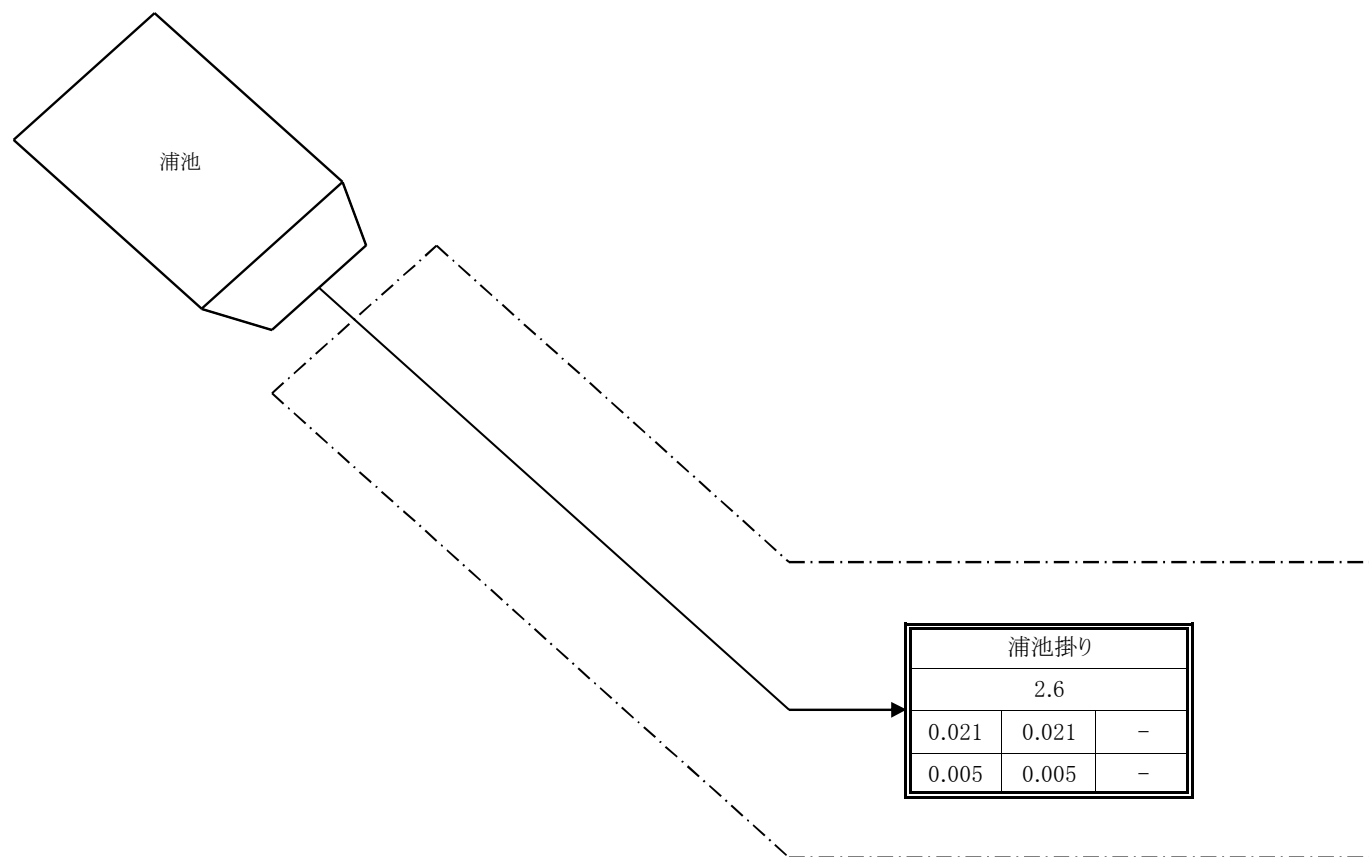
(2) 用水施設



(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積					計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考	
		40ha以上		40～5ha		5ha未満		箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s		m <sup>3</sup> /s
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
県営ため池等整備事業	貯水池					1	2.6	1	2.6			1	0.021	0.021	
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	2.6	1	2.6			1	0.021	0.021	
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計					1	2.6	1	2.6			1	0.021	0.021		

現況用水系統図



凡 例					
記 号	名 称				
————	既 設 水 路				
	頭 首 工				
	貯 水 池				
<table border="1" data-bbox="1736 702 1870 790"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地 区 外
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
<table border="1" data-bbox="1736 829 1870 917"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地 区 内
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
(イ)	路 線 名				
(ロ)	灌 漑 面 積				
(ハ)	代 掻 期 粗 用 水 量				
(ニ)	代 掻 期 利 用 可 能 量				
(ホ)	普 通 期 粗 用 水 量				
(ヘ)	普 通 期 利 用 可 能 量				
(ト)	不 足 水 量				

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積  (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
県営ため池等整備事業	貯水池	1	2.6	均一型	19,000m <sup>3</sup>	不明	堤体の強度不足に伴う耐震性低下	
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計	1	2.6		19,000m <sup>3</sup>			
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計	1	2.6		19,000m <sup>3</sup>				

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量	
				平均 (m <sup>3</sup> /s)	基準年 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )			
			該当なし							
	計									
	合計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			
			該当なし				

## (4) ため池決壊の場合の想定被害状況

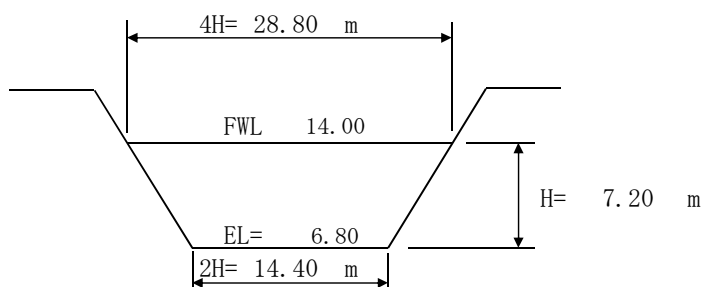
(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)						人命 (人)	備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
県営ため池等整備事業(一般)	2.6	1.6	9.9	14.1	1,975	155,918	561,977	43,506	1,456,644	2,220,020	93	
計	2.6	1.6	9.9	14.1	1,975	155,918	561,977	43,506	1,456,644	2,220,020	93	

## (5) 原因究明

ため池堤体の強度不足に伴う耐震性低下により、地震時の堤体崩壊などが決壊の原因となることは十分予想される。

本溜池が決壊すれば約19,000m<sup>3</sup>の貯留水が氾濫し、集落、農地、農業用施設等多大の被害が及ぶことになる。よって、溜池決壊における被害を未然に防止する目的で早急な改善が望まれる。



$$\cdot \text{総流出量} = \text{ため池貯水量} = 19,000 \text{ m}^3$$

・流出洪水量

$$Q = q_1 + q_2$$

$$\text{但し } q_1 = 4.5 \cdot H^{5/2} = 4.5 \times 7.20^{5/2} = 625.96 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

$$q_2 = 5.724 \text{ (m}^3/\text{S)} \quad \text{洪水吐設計洪水量}$$

$$Q = 625.96 + 5.724 \approx 631.7 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

$$\text{よって } Q = 631.7 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

2. 排水状況

(1) 排水系統

該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			500ha以上		100～500ha		100ha未満						
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	合計												

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	構造	規模	新設 又は 更新	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
合計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量 (t)		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田		畑		その他				
									乾	湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量	
			平均														
			基準年			該当なし											
	計		平均														
			基準年														
	合計		平均														
			基準年														

3. 河川の現況

(1) 河川の現況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 ( $m^3/s$ )	既往最大洪水量 ( $m^3/s$ )	備考
		該当なし				

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額		該当なし			
平均被害額					

## 第4節 道路状況

### 1. 道路概況

該当なし

### 2. 主要道路一覧表

(第6表)

	路線名	管理 区分別	延長(m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	供給水道業 (人)	電気ガス熱 運輸情報通信業 (人)	御売小売業飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	医療福祉 (人)	教育学習支援業 (人)	その他 (人)	備考
糸島市		46,685	3,243		371	7	4,231	3,818	261	3,435	7,884	907	914	6,727	2,462	12,425	出典； R2年度 国勢調査 15歳以上就業者
計		46,685	3,243		371	7	4,231	3,818	261	3,435	7,884	907	914	6,727	2,462	12,425	
比率 (%)		100	6.9%		0.8%	0.0%	9.1%	8.2%	0.6%	7.4%	16.9%	1.9%	2.0%	14.4%	5.3%	26.6%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)										1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)		備考					
		例外規定の適用を受けるもの	0.5	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり	団地当たり積り(a)	専業		兼業				
			ha未満	~1.0	~1.5	~2.0	~3.0	~5.0	~10.0													ha以上	第一種	第二種		
糸島市	1,326	30	224	324	239	146	135	95	74		59															R2 農林業センサスより
計	1,326	30	224	324	239	146	135	95	74		59															
比率(%)	100	2%	17%	24%	18%	11%	10%	7%	6%		4%															

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	田植機		トラクタ		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(羽)	戸数(戸)	
糸島市	825	798	1,800	1,247	559	516			2,062	22	1,597	22	22,477	12	2,999	11	動力農機具 平成28年農林業センサス 主要家畜 令和2年農林業センサス
計	825	798	1,800	1,247	559	516			2,062	22	1,597	22	22,477	12	2,999	11	
100戸当たり数量 (台,頭,羽)	103		144		108				9,373		7,259		187,308		27,264		
利用戸数割合(%)																	

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		糸島市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積 (ha)		3,460.0									
総本地面積 (ha)		3,270.0									
区分		作付面積	単位面積	作付面積	単位面積	作付面積	単位面積	作付面積	単位面積	%	
作付名		(ha)	当たり収量 (kg/10a)	(ha)	当たり収量 (kg/10a)	(ha)	当たり収量 (kg/10a)	(ha)	当たり収量 (kg/10a)		
田	表作	水 稲	1,850	443						53%	第71次 (2024) 九州水産統計 年報
		大 豆	66	150						2%	
	裏作	二 条 大 麦	501	329						14%	
		小 麦	543	424						16%	
	小 計		2,960	/						86%	
畑	春夏作										
	秋冬作										
	小 計			/							
樹園地		梅									
		みかん									
		柿									
		ぶどう									
		なし									
	小 計			/							
計		2,960	/							86%	
市町村別延べ作付率(%)		86%									

5. 農業の動向

(H27年現在)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大 家 畜			動力農機具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の 状 況 (C年を 100と する 指 数)	総農家数	84	93	耕 地	101	103	水 稻	93	97	乳 用 牛	91	101	トラクター	70	71		
	専業農家数	-	-	田	101	100	麦 類	141	134	肉 用 牛	39	109	噴霧機	-	92		
	第一種 兼業農家数	-	-	畑	93	97	大 豆	79	121	豚	-	-	動力田植機	55	90		
	第二種 兼業農家数	-	-	樹園地						採卵鶏	-	-	コンバイン	63	54		
	農 業 従 事 者 数	-	-	草 地													
変化の 理 由	農産物価格の低迷、後継者不足などから離農する人が増えている。また、法人化の傾向もある。			後継者不足などからの耕作放棄地の拡大。大型商業施設の進出、核家族化に伴う住宅用地等への変更の為、農用地の減少がある。			転作により水稻の作付け面積は、減少しているが、転作の大豆、麦等の作付面積は増加している。			農家規模縮小の為、家畜飼育頭数は同等及び減少傾向にある。			農機具の価格が高騰し、兼業農家では、購入が難しく、農協や中核農家へ作業委託するケースが増えつつある。			農林業 センサス 2015 2010  A： 2015 B： 2010 C： 2005	

糸島市：2010年1月1日

それ以前は、前原市・志摩町・二丈町

## 第6節 地域環境の概況

### 1. 植物、動物等生態系の概要

本市における植物は、宅地・事業所、大規模な土地の創生により改変、減少している。さらに、自生する植物の生育環境は家庭排水、その他各種の汚染部質による水質汚染、土壌汚染、大気汚染等々による生育環境の悪化、加えて、園芸ブームによる心ない盗掘や乱獲も度合を増している。本市における哺乳類の生息状況は、どの地域でも生息している種の一部が確認されているだけで、特に希少種は発見されていない。鳥類に関して見ると、多くの種が見られている。両生類では、希少種のヤモリ・ヒキガエル・ツチガエル・トノサマガエル・ニホンアカガエルと比較的多く発見されている。

※糸島市の福岡県レッドデータブック2011および2014のカテゴリーより記載する。

植物群落	コナラ群落	カテゴリーⅢ
両生類	トノサマガエル	絶滅機種 I B類
両生類	ニホンアカガエル	絶滅機種 II類
両生類	ヒキガエル	絶滅機種 II類
両生類	ツチガエル	純絶滅機種
両生類	両生類A	

### 2. その他地域環境の概要

本市は、福岡県の西部の糸島半島に位置し、東は福岡市、南は佐賀県唐津市、佐賀市に接し、北側には玄界灘に面した美しく変化に富んだ海岸線が続き、南側には脊振雷山山系の山々が連なっている。中央部の糸島平野には、広大な田園地帯が広がり、東西にとうるJR筑肥線、国道202号沿線を中心に市街地が形成されている。市の面積は216.15km<sup>2</sup>で、東西役23.5km、南北約19.3kmにわたり、福岡県県下では第6位の広い行政区域面積を有している。農家戸数、農業就業人口は毎年減少している。今後、兼業化の進展、後継者不足、担い手の減少と高齢化が進むと思われる。よって、魅力ある農村づくりについては、生活環境の整備をすすめ、自然環境の維持、保全の努力していくものである。

第4章 一般計画  
 第1節 事業計画の要旨  
 1. 要旨

項目	事業を必要とする理由	改修・補強工法
取水施設	取水施設機能 現況取水はフロート式で操作の不具合はない。  緊急放流施設が対応していない。	現況フロート式取水と接続する。 底樋:HP管 φ800 (L=6.7m) 現況底樋との接続 放流斜樋:塩ビ管 φ250(L=8.1m) 緊急放流孔 φ250 1孔 ため池栓 φ100 7孔(取水管理補足のため設置)
洪水吐	流下能力 5.724m <sup>3</sup> /s > 1.19m <sup>3</sup> /s 洪水吐流入部は断面不足あるので改修が必要である。	側水路式 L=38.5m(取付水路L=23.2m)
堤体又は基礎からの漏水状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤体法尻からの漏水は少量見られる。</li> <li>・漏水量 0.0ℓ/min/100m &gt; 60ℓ/min/100m</li> </ul>	
堤体	余裕高:1.4m > 0.90m 余裕高不足 堤体断面:上下流の押え盛土斜面の浸食 堤体変形率:5.1% > 5.0% 堤体の耐震性が劣っているため対策が必要である。	堤体改修工法:堤頂部地盤改良盛土工+堤体下流・基礎部地盤改良工 法面保護工:波受工(A=945.4m <sup>2</sup> )
その他被災歴・改修歴 ・溜池依存の状況等 特記事項	防災重点ため池:該当 重要度区分:重要度A 被災歴:なし	

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農村地域防災減災事業														計 (ha)	備考							
	田	輪換耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小計	田	輪換耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小計									
災害防止	2.6						2.6															2.6	
計	2.6	—		—	—	—	2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業により、浦池の貯水機能が維持され、水供給の安定供給により干害被害が防止される。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	田	輪換耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	その他	小計	原野	山林	(買収) その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
県営ため池等整備事業	現況	2.6	-		-	-	-	-	2.6				2.6	
	計画	2.6	-		-	-	-	-	2.6				2.6	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	2.6	-		-	-	-	-	2.6	-	-	-	2.6	
	計画	2.6	-		-	-	-	-	2.6	-	-	-	2.6	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												備考		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
県 営 た め 池 等 整 備 事 業 ( 一 般 )	田 (表)	水 稻					○	△	—	—	—	—	×	×					○	△	—	—	—	—	×	×		○△× 播移収 種植穫		
		大 豆								○	○	—	—	×	×							○	○	—	—	×	×			
	田 (裏)	麦	—	—	—	—	×	×							○	△	—	—	—	—	×	×					○		△	
	田 (表)	水 稻					○	△	—	—	—	—	—	×	×					○	△	—	—	—	—	×	×			
		大 豆								○	○	—	—	×	×							○	○	—	—	×	×			
田 (裏)	麦	—	—	—	—	×	×							○	△	—	—	—	—	×	×					○	△			

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	土地利用区分	項目 作物名	作付面積 (ha)			作付率		単位面積当たり収量 (kg/10a) 過去5年平均値			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳(t)		備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加		
			県営ため池等整備事業	輪換	表作	水 稲	2.6	2.6	-	100.0	100.0	433	433	-	1.1		1.1
	いちご	-			-	-					-	-	-	-	-	-	
	水 菜	-			-	-					-	-	-	-	-	-	
	小 計	2.6			2.6	-	100.0	100.0				1.1	1.1	-	-	-	
耕地	裏作	麦(小麦)												-	-	-	
		小 計												-	-	-	
		計		2.6	2.6	-	100.0	100.0				1.2	1.2	-	-	-	
		計		2.6	2.6	-	100.0	100.0				1.2	1.2	-	-	-	
普通畑	春夏作																
	秋冬作																
		計															
合 計			2.6	2.6	-	100.0	100.0				1.2	1.2	-	-	-		

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作物面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考
					区分	現況	計画	増減	
	輪 換 耕 地	表 作							
		裏 作							
		計							
	普 通 畑	表 作							
		裏 作							
		計							
	合 計								

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区分 級地名		農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
土地利用区分												
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

区分	項目	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)						備 考	
			田	輪換耕地	畑			計		
					普通畑	牧草畑	樹園地			
増 反			( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
入 植			( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

第3節 用 水 計 画

1. 計画基準年

-

2. 計画かんがい方式

受益地区内水路による自然かんがい

3. 計画用水系統

受益地上流に位置する浦池を主水源とし、2.6haをかんがいする。

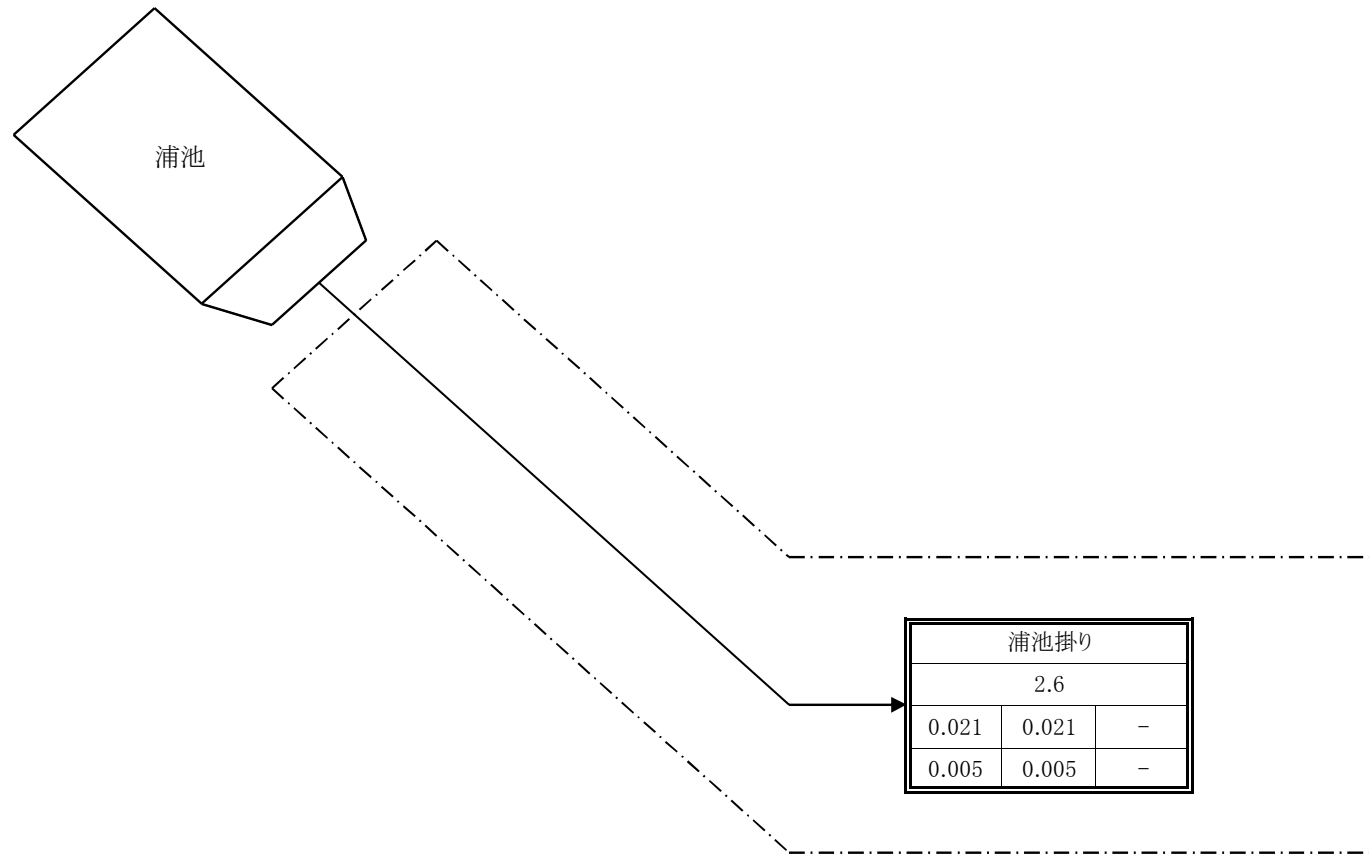
4. 計画用水量



(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統図	種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		事業名		普通期	代掻期	面積 (ha)	一日当たり計画 平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり計画 平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	単位用水量 計画平均 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m <sup>3</sup> /s)	最大 (m <sup>3</sup> /s)	
		農業 整備 事業 用ため 池		計画	単位														
				平均	用水量 (mm/日)	代掻	用水量 (mm/日)	面積	面積	面積	面積	面積	面積	面積			面積		
		2.6		15.0	150.0	2.6										15	0.005	0.021	

計画用水系統図



凡 例					
記 号	名 称				
————	既 設 水 路				
	頭 首 工				
	貯 水 池				
<table border="1" data-bbox="1733 703 1872 791"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地 区 外
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
<table border="1" data-bbox="1733 831 1872 919"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地 区 内
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
(イ)	路 線 名				
(ロ)	灌 漑 面 積				
(ハ)	代 掻 期 粗 用 水 量				
(ニ)	代 掻 期 利 用 可 能 量				
(ホ)	普 通 期 粗 用 水 量				
(ヘ)	普 通 期 利 用 可 能 量				
(ト)	不 足 水 量				

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利用区分	対象面積 (ha)			日 当 給 水 量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名		計	単位給水量 (1/s)	最大給水量 (1/s)			
(The entire table body is crossed out with a diagonal line from the top-left to the bottom-right.)									



(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積(km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直 接	間 接	事業名		計					
			ため池 整備事業							
浦池	0.2094	0.000	2.6	-	2.6	19.0	-	2	0.021	





(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 ( $m^3/s$ )	延長 (m)	構造	備考
	事業名		計				

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

#### 第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画排水方式

該当なし

3. 計画排水系統

該当なし

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)		計	流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備考
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
												自然排水	機械排水			

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計	計 画		排 水 本 川			備 考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	名 称	計 画 洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計 画 洪水位 (m)	
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計	計画排水量		排 水 機				備 考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台 数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
計											



6. 湛 水 検 討

	湛 水 状 況			許 容 湛 水 深 以 上		排 水 系 統	備 考
	面 積	最大湛水深	最大湛水時間	面 積	時 間		
現 況	ha	cm		ha			
計 画							

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目 路線名	幅（有効）× 延長 （m） （km）	構造	既設道路との関係	備考
計				

(2) 索 道

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備 考

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作目	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H <sub>2</sub> O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水 到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大 流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大 調節量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )			計画調節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なし

(3) 洪水調節要領

該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考
(This table content is crossed out with a diagonal line)						

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備 考

(3) 末端道水路配置図

該 当 な し

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗 渠 排 水

(第16表-3-1)

項目 区分	面 積 (ha)		計	土 壤 統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{\%}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠 出口以下 の排水 方法	備 考
	事業名								
計									

(2) 心 土 破 砕

(第16表-3-2)

項目 区分	面 積 (ha)		計	土壤統(区)名	土 壤 硬 度	備 考
	事業名					
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)		土壌統 (区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壌 の 性 質		備 考
	事業名	計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
計											

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

## (3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

## 第10節 老朽ため池改修計画

## 1. 洪水吐改修計画

## (1) 計画基準雨量

計 画 降 雨	観測機関名	福岡管区気象台（昭和21年～令和4年データ）		
	計画基準雨量	96.4 mm/hr （200年確率）		
	計画根拠	(1) 200年確率雨量（A項流量）	$\gamma t = 96.4 \text{ mm/hr}$	$\gamma 10 = 28.3 \text{ mm/hr}$
		(2) 既往最大時間雨量	$\gamma t = 96.5 \text{ mm/hr}$	$\gamma 10 = 23.5 \text{ mm/hr}$
		洪水到達時間42.2分より有効降雨強度 $\gamma t = 109.3 \text{ mm/hr}$ となる。		

## (2) 計画洪水量

集水 面積	直接	20.94 ha	合計
	間接	0 ha	20.94 ha
計 画 洪 水 量	計 算 式	$Q = 1/3.6 \cdot f \cdot \gamma t \cdot A \cdot 1.2$	
	流 出 率	0.75 （総合流出）	
	計 画 洪 水 量	$Q = 1/3.6 \times 0.75 \times 109.3 \times 0.2094 \times 1.2 = 5.724 \text{ m}^3/\text{S}$	
		貯留効果は考慮しない。	

## 2. 堤体補強計画

- (7) 法面保護工 上流斜面 …… 波受工、張芝  
 (i) 堤体補強 堤頂部鞆土及び堤体下流基礎部の地盤改良により耐震強度補強。

## 3. 取水施設改修計画

取水は現況フロート式を底樋部に再接続する。また、ため池栓  $\phi 100$  7孔（取水管理補足のため）を設置。緊急放流孔  $\phi 250$ に設置に対して、斜樋は塩ビ管  $\phi 250$ にて改修し、鉄筋コンクリート360° 巻立とする。底樋はヒューム管  $\phi 800$ にて鉄筋コンクリート360° 巻立し、現況ヒューム管  $\phi 800$ と接続する。

第5章 主要工事計画  
第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	型式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m <sup>3</sup> )	基礎地盤 地質	貯水量 (千m <sup>3</sup> )		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
堤体										
洪水吐	型式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)		取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	

2. 頭首工

(第17表-2)

名称	型式	堤高 (m)	堤長 (m)		位置 計	取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
			固定部	可動部					
計									

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (KW)	台数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネル その他	計				
計										

5. その他かんがい施設  
該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネル その他	計				
計										

4. その他排水施設

該当なし



(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索 道

(第19表-3)

項目 名称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/h r)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ( )	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	haあたり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計						

(2) 除礫

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
		該当なし		
	計			

(4) 地目変換

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
		該当なし		
	計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
		該当なし			
	計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
		該当なし			
	計				

## 2. 土壌改良

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	位置		堤 長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	固定部	可動部	計	計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
(This table is currently empty)								

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構造	勾 配	備考
		トンネル	その他	計			
(This table is currently empty)							

第6節 干拓施設

1. 堤防

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造				原地盤標高(m)		備考
			堤長標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

該当なし

4. 埋立

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	土量 (m <sup>3</sup> )	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集 水 渠				排 水 渠						集水渠出口以下 の排水施設			備 考
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
計																

(2) 心土破砕

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

3. 客 土

(第23表-5)

区分	面積 (ha)		客入土量 ( $m^3$ )	土取場土量 ( $m^3$ )	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
	項目	事業名					
計							

4. 除 礫

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 ( $m^3/ha$ )	面積 (ha)	工 法	備 考
計						

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
		該当なし				
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構造	備考
		該当なし		
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目 区分	構造	数量	備考
	該当なし		
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	浦池					位置	福岡県糸島市志摩野北		
	区分	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤体巾 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考
堤 体	現況	均一型	0.2094	8.6	78.2	11,800	2.7	19.0	
	計画	均一型	0.2094	9.1	77.0	13,600	3.8	19.0	
洪 水 吐	区分	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取 水 施 設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	現況	水路流入式	5.724	B=2.4			斜樋 - 塩ビ 底樋-ヒューム管	0.021	— φ800 L=35.0m
	計画	側水路式	5.724	B=7.6			斜樋 - 塩ビ 底樋-ヒューム管	0.021	φ250 L=8.1m φ800 L=34.2m

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

堤体上流法面は、風波高まで波受工を施工する。

堤体下流法面は、張芝工を施工する。(堤体下流・小段以下は防草シート：維持管理の省力化)

(2) 堤体補強工

堤体断面不足による改修。

堤体安定計算結果(安全率  $F_s=1.2$ 未満)に伴い、堤頂部地盤改良盛土工+堤体下流・基盤部地盤改良工で補強する。

第6章 附帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工事の着手及び完了の予定

工 期	着手予定	令和4年度	
	完了予定	令和8年度	5ヵ年

2. 工 程 表

(単位：千円)

	全 体	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
堤 体 工	127,400			102,020	1,300	24,080
取 水 設 備 工	15,800			15,800		
洪 水 吐 工	39,600		39,600			
仮 設 工	29,400	13,500	10,900			5,000
測 量 試 験 費	21,800	19,900		1,900		
用地費及び補償費	6,100	600		2,500		3,000
小 計	240,100	34,000	50,500	122,220	1,300	32,080
工 事 雑 費	3,900	543	846	2,004	20	487
地 方 事 務 費	12,000	1,697	2,524	6,106	65	1,608
事 業 費	256,000	36,240	53,870	130,330	1,385	34,175
同 上 百 分 率	100.0%	14.2%	21.0%	50.9%	0.5%	13.3%

## 第8章 環境との調和への配慮

### 第1節 配慮の対象

#### 1. 動物

該当無し

#### 2. 植物

該当無し

#### 3. その他

該当無し

### 第2節 配慮の考え方

#### 1. 施工上の配慮

- ・工事範囲を最小限にするとともに、もし希少生物を発見した場合は移植、移動を行い代替生息域を確保する。

#### 2. 施設画面上の配慮

- ・工事の施工時期を、生物の生活・生態等を考慮し、なるべく10月以降に実施する。

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称・所在・面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

#### 2. 換地区を設定する理由

該当なし

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準





第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備 考

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		県営ため池等整備事業（一般）	備考
区分		(千円)	
工	事	212,200	
費			
用	地	6,100	
費	及		
換	地	—	
地	費		
測	量	21,800	
試	験		
費			
工	事	3,900	
雑	費		
地	方	12,000	
事	務		
費			
計		256,000	
関連事業			

第11章 効 用

(単位：千円) (第27表)

事業名	区分		年総効果（便益）額	年増加農業所得額	備考
	効果項目				
農村地域防災減災事業	維持管理費節減効果		37	119	
	災害防止効果(農業関係資産)		31,674	—	
	災害防止効果(一般)		64,092	—	
	災害防止効果(公共資産)		1,914	—	
	合計		97,717	119	

総費用額： 217,660千円    総便益額： 2,282,665千円    総費用総便益比： 10.48    所得償還率： -

## 第12章 関連する事業

### 1. 道路事業との調整

該当なし

### 2. 高付加価値農業の営農に必要な対策

#### (1) 目的

該当なし

#### (2) 事業内容

該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

## 第13章 現況・計画図面

### 1. 現況・計画平面図

添付図面参照